



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1999, 73(2):
421-421

ISSUE DATE:

1999-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96729>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成11年11月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第73巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.73 no.2

物性研究

1999 / 11

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

去年から続く共同研究のため、この夏再び訪れたドイツの大学町ゲッティンゲンでのこと。昼食後のカフェテリアでは、物理の或る「最先端」分野での流行テーマを巡って白熱した議論が続いていた。

やがて話は、インターネット・electronic archive の果たす重要かつ有用な役割と共に、それがもたす流行の加速現象・研究動向の画一化、その功罪を巡っての大議論となる。〈〈これほどまでに効率的なコミュニケーション手段が発達した今、どんな問題点があろうともはや誰もインターネットの果たす役割に背を向けて進むわけには行かない…〉〉。延々続いた長いおしゃべりも、いずれこうした常識的な線に落ち着く気配が見えてきた。

これは昔どこかで出会った構図とそっくりだ！——だんだん興奮めの気分になり始めた私の記憶に蘇ったのは、学生時代に読んで感銘を受けた岩波新書『ヨーロッパとは何か』（増田四郎著）だった。そこでは、西欧と東欧の自然条件・地理的条件に基づいて両者の歴史的・社会的な違いが巧みに説明されている：曰く、「ヨーロッパの西部及び南部において、山脈があるために各地域ごとの多種多様な団体形成を可能にしている半面、相互に比較的容易に文化の伝播や交流が行われる」。それが、ルネサンス以降今世紀のある時期に至るまで世界史を大きく規定した「ヨーロッパ世界」を産み出した背景であると。

一方、「東ヨーロッパ … は、交通を妨げる山脈はなにもない … きわめて平坦なまとまりであるため … 大陸的な農耕文化 … きわめて単調な封鎖的な小社会をつくっていく。… 村落というものはどの村も同じものなので、地形が同じだから、ローカル・カラーを発揮する地理的条件がなく、西ヨーロッパのように村落を超えた多様な地域社会の特徴が出にくい … 他方では、… 遊牧的騎馬民族の侵略にさらされているという危険 … その上に臨んでいく強力な政治権力を発生させる可能性」。これは、圧倒的なテレビ「文化」とコンビニストアによる「流通革命」で、地域の特色をすべて失い画一化された日本の中小地方都市の退屈な風景と、そっくり二重写しに見える。

今日にしているのは、基礎科学を含むあらゆる社会領域を巻き込んだ「超伝導」情報流とそれが支える均質相、のっぺらぼうの等質空間へと向かうプロセスの1シーンなのかも知れない。この情報洪水の中から歴史の試練に耐える価値を抽出するには、isolation か communication かなどという単純な二者択一ではなく、両者を結合するモードの違いに着目することが重要なのだろう、例えば、第一種超伝導体と第二種との違いのように。しかし、便利で快適なコンピュータ文明の奏でる心地よい笛の音につられて走り出した我々の行く手に、この先一体何が待ち受けているのだろうか？ ゲッティンゲンといえばグリム兄弟。そのグリム童話の一コマ、ハーメルンの笛吹き男の不思議な笛に誘い出され、次々と川に溺れて行くネズミの大群が、ふと脳裏をかすめた。私は慌ててその不吉なイメージを振り払おうと、椅子から立ち上がった。

(I. O.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

吉岡 英生 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第73巻第2号 (平成11年11月号) 1999年11月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

吉岡 英生 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第73巻第2号 (平成11年11月号) 1999年11月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 73-2 (11月号) 目 次

○講義ノート

「第44回 物性若手夏の学校」(1999年度) 165

○編集後記..... 421

物 性 研 究 73-2 (11月号) 目 次

○講義ノート

「第44回 物性若手夏の学校」(1999年度) 165

○編集後記..... 421